# 果樹カメムシ情報第2号

平成22年7月9日 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 越冬成虫が生存する8月中旬まで、 果樹カメムシの飛来に引き続き注意!

### 1 発生状況および今後の発生予想

- (1) 豊橋市の予察灯において5月から6月の2か月間で誘殺された果樹カメムシ類は、 チャバネアオカメムシが1,076頭(平年165頭、図1)、ツヤアオカメムシが544頭 (平年78頭、図2)、クサギカメムシが24頭(平年4頭)であり、平年に比べて非常に多くなりました。
- (2) 豊田市、豊川市のフェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数も6月下旬に急増し(図3)、ナシ、ブドウ、カンキツなどのほ場への果樹カメムシ類の飛来も増えました。
- (3) 果樹カメムシ類は、6月下旬以降にスギ・ヒノキ球果に集まり吸汁・産卵します。 しかし、本年のスギ・ヒノキ科花粉総飛散数が過去10年平均の8.9%と非常に少な かったことから本年のスギ・ヒノキの球果量は少ないと予測されます。実際に7月上 旬に行った6か所の現地調査でもスギ・ヒノキ球果の着果量が非常に少ない状況でし た。。
- (4) 本年は果樹カメムシ類の越冬成虫量が非常に多く、餌となるスギ・ヒノキの球果が 非常に少ないことから、果樹カメムシ類が餌を求めて7月に果樹園へ大量に飛来する 可能性が高いと思われます。

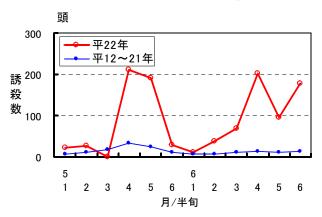


図1 豊橋市の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数

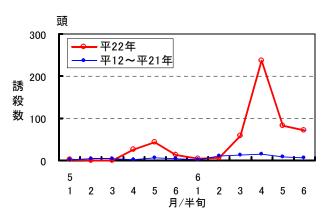
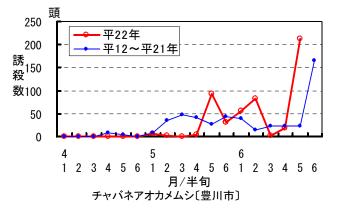


図2 豊橋市の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数



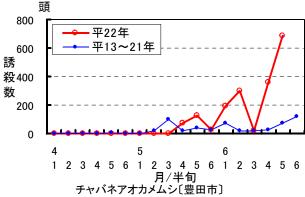


図3 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

#### 2 防除対策

- (1) カキでは、早生品種に早く飛来する傾向があるので、これらのほ場では、周辺部における成虫の飛来を確認しましょう。
- (2) 例年、カンキツでは7月に幼果に被害を受けることは多くありません。しかし、本年は被害が発生する可能性が高いので、注意しましょう。
- (3) 果樹カメムシ類は局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があります。また、園地間差が大きいので、過去にカメムシ類の被害が多かった園では特に注意しましょう。
- (4) 飛来を確認したら、次表を参考に残効の長い合成ピレスロイド剤もしくはネオニコチノイド剤を散布しましょう。
- (5) 農薬の散布に当たっては、他の農作物や人畜に害を及ぼさないよう飛散防止に努めましょう。
- (6) 農薬はラベル表示事項を守り使用しましょう。

カメムシ類に対する主な防除薬剤と使用基準

11 . 11 . 1-	THE STATE OF THE S				
作物名	薬剤名	系統	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
モモ	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫3日前まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ナシ	MR.ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫3日前まで	2回以内
	テルスター水和剤	ピレ	1000~2000倍	収穫前日まで	2回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	スカウトフロアブル	ピレ	1500倍	収穫前日まで	5回以内
ブドウ	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
カキ	テルスター水和剤	ピレ	1000~2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内
	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫7日前まで	3回以内
	スカウトフロアブル	ピレ	1500倍	収穫7日前まで	5回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
カンキツ	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	モスピラン水溶剤	ネオ	2000~4000倍	収穫14日前まで	3回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内
	アグロスリン水和剤	ピレ	2000倍	収穫7日前まで	5回以内
	テルスター水和剤	ピレ	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内

注) 系統の「ネオ」はネオニコチノイド剤、「ピレ」は合成ピレスロイド剤であることを示す。

#### 3 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ 電話:0561-62-0085 (内線471)